

雄国沼湿原希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 会津森林管理署
所在地	福島県耶麻郡北塩原村
面積	174.13ha
設定年	昭和48年(設定)、平成30年(名称変更)
保護林の概要 (設定目的)	再生複合体が見られるよく発達した高層湿原で、ホロムイイチゴ、ヒオウギアヤマメなどを多産し、当該地域では特に希少種が多い。国指定天然記念物にも指定されている。このため、希少種を多く含む高層湿原の希少な個体群を保護するため設定する。



保護林内の状況



高層湿原の状況

モニタリング調査概要

実施年度	平成22年、平成27年、令和2年、令和7年
調査項目	資料調査、樹種分布状況調査(UAV撮影)、森林概況調査、森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査等)、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査として、ミズナラ群落の生育地及び雄国沼湿原周辺の木道沿いにおいて調査プロットを計6箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握した。
結果概要	高層湿原の植物群落、その周囲の斜面林ともに概ね安定して維持されていると考えられるものの、湿原では低木種や乾性草本の侵入が増加し、高層湿原構成種に減少しているものがみられるなどの変化が認められた。また、沼の水量が減少して水際が大きく後退しており、湿原の乾燥化が進行しているとみられる。さらに、イノシシ等の動物が移動、あるいは掘り返した痕跡が一部に確認され、裸地化していたことから湿原の植物群落への影響が懸念される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。